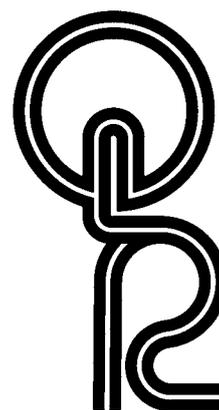


QR Newsletter



第四紀通信

Vol. 25 No.6, 2018



新島羽伏浦海岸（シークレットビーチ）に見られる40数枚のユニットから成る高さ約35mの向山火砕流堆積物（三橋さゆり撮影）

Vol. 25 No. 6

December 1, 2018

2019年大会案内（第2報）..... 2	第4回ジオパークシンポジウム案内..
日本地球惑星科学連合2019年大会案内（第1報）..... 2 4
INQUA2019開催案内..... 3	2018年発表賞選考結果..... 5
評議員会開催案内..... 3	学会賞等推薦のお願い..... 6
2018年受賞記念講演会案内..... 4	執行部会議事録..... 7
	会員消息..... 8

◆ 2019年大会案内 (第2報)

場所：千葉科学大学

期間：2019年8月23日(金)～8月26日(月)

8月23日、24日：一般発表

8月25日：公開シンポジウムおよび普及講演会

8月26日：巡検(千葉県東部)

◆ 日本地球惑星科学連合 2019年大会のお知らせ (第1報)

2019年5月26日(日)～5月30日(木)に日本地球惑星科学連合 2019年大会が千葉県千葉市の幕張メッセで開催されます。第四紀学会では、これまでと同様に、「第四紀：ヒト-環境系の時系列ダイナミクス」を単独で、「活断層と古地震」を他学会と共同で主催予定です。ほかにも第四紀関連セッションが多数提案されています。会員の皆様の積極的な参加を期待しています。

大会に関する詳細は http://www.jpгу.org/meeting_2019/ をご覧ください。

【今後の主な日程】

- 11月21日(水) 開催セッションリスト公開
- 12月3日(月) コマ割り公開
- 1月8日(火) 投稿・参加登録開始
- 2月4日(月) 投稿早期締切(23:59)
- 2月19日(火) 投稿最終締切(17:00)
- 3月13日(水) 採択通知
- 3月14日(木) 発表プログラム一般公開
- 5月8日(水) 早期参加登録締切(23:59)
- 5月17日(金) 予稿PDF公開

【年会費】

- 一般(教員、シニアを含む) ¥2,000
 - 大学院生・研究生 ¥1,000
 - 学部生以下 無料
- ※年会費は不課税です。

【投稿料】

- ▶ 早期投稿：
2019年1月8日(火)～2月4日(月) 23:59 決済分 投稿料 ¥3,240/1件
 - ▶ 通常投稿：
2019年2月5日(火)～2月19日(火) 17:00 決済分 投稿料 ¥4,320/1件
- ※税込料金です。

【早期参加登録料】(2019年1月8日(火)～5月8日(水) 23:59 決済分)

- ▶ 会員割引料金 (AGU、AOGS、EGU 会員を含む)
 - 一般 全日程券：¥22,680 一日券：¥14,040
 - 小中高教員 全日程券：¥11,880 一日券： ¥7,560
 - 大学院生 全日程券：¥11,880 一日券： ¥7,560
 - 学部生以下 無料
- ▶ JpGU シニア正会員(70歳以上) 全日程券：¥11,880 一日券： ¥7,560
- ▶ 通常料金(割引無し)
 - 一般 全日程券：¥32,400 一日券：¥22,680
 - 小中高教員 全日程券：¥19,440 一日券：¥14,040

大学院生	全日程券：¥19,440	一日券：¥14,040
学部生以下	無料	

【通常参加登録料】(2019 年 5 月 9 日 (木) ~ 5 月 30 日 (木) 決済分)

▶ 会員割引料金 (AGU、AOGS、EGU 会員を含む)

一般	全日程券：¥30,240	一日券：¥19,440
小中高教員	全日程券：¥16,200	一日券：¥10,800
大学院生	全日程券：¥16,200	一日券：¥10,800
学部生以下	無料	

▶ JpGU シニア正会員 (70 歳以上) 全日程券：¥16,200 一日券：¥10,800

▶ 通常料金 (割引無し)

一般	全日程券：¥43,200	一日券：¥27,000
小中高教員	全日程券：¥25,920	一日券：¥19,440
大学院生	全日程券：¥25,920	一日券：¥19,440
ファミリーパス	全日程券：¥2,160	一日券：¥1,080
学部生以下	無料	

※参加登録料は、すべて税込の金額です。

※ファミリーパスは、会場での発行のみとなります。

◆国際第四紀学連合第 20 回大会 (INQUA 2019) 開催について

国際第四紀学連合第 20 回大会 (INQUA 2019) が、2019 年 7 月 25 日から 7 月 31 日にかけてアイルランドのダブリン市で開催されます。主な期日は下記のとおりです。

発表要旨登録締切：2019 年 1 月 9 日

超早期大会参加登録：2019 年 1 月 16 日

早期大会参加登録：2019 年 3 月 27 日

大会参加費は下記の通りです。

[全日程・一般] 超早期：495 ユーロ 早期：545 ユーロ 通常：595 ユーロ

[全日程・学生] 超早期：395 ユーロ 早期：445 ユーロ 通常：495 ユーロ

巡検への参加などの詳細につきましては、大会ホームページ (<http://www.inqua2019.org/>) をご参照下さい。

◆ 2018 年度第 2 回評議員会開催のご案内

下記の日程で、2018 年度第 2 回評議員会が開催されます。評議員および会長経験者の方には後日、通知が送付されますので、出欠の回答をお送り頂きますよう、よろしくお願い致します。なお当日の午後には同じ会場で、2018 年学会賞・学術賞受賞記念講演会を開催致しますので、併せてご参加頂ければ幸いです。

日時：2019 年 1 月 27 日 (日) 10:00 ~ 12:00

場所：早稲田大学早稲田キャンパス 22 号館 2 階 201 教室

議事 (予定)：

- (1) 2018 年度活動報告および会計中間報告
- (2) 選挙管理委員会の委員選出について
- (3) 論文賞選考委員会の委員選出について
- (4) その他

◆2018年学会賞・学術賞受賞記念講演会（第1回）

場所：早稲田大学 22号館 2階 201教室（約200名収容）

日時：2019年1月27日（日）

13:30～16:00 受賞記念講演会

（竹村恵二会員、塚本すみ子会員）

◆第4回ジオパークシンポジウム

「日本列島の第四紀多様性：ジオパークの基礎として」（再掲）

趣旨：日本第四紀学会は2017年度から5つの領域を中心とした活動に移行し、領域5「現在社会に関わる第四紀学」では、ジオパークおよびジオパーク活動を支援・推進しています。今まで、3回のジオパークシンポジウムを開催してきましたが、今年のシンポジウムでは、ジオパークを構成する「ジオ多様性」を第四紀学的に見つめ直すことを目的として、日本の自然環境の多様性について、保全の必要性を論じた上で、各テーマの概要をまとめ、ジオパーク活動への貢献を議論します。講演者は、各テーマで中堅以上の研究者にお願いしました。このような第四紀多様性をもとにして、各ジオパークで新たな活動が加わり、活動に深みが出ることを期待します。ジオパーク関係者、ジオパークに興味・関心がある方だけでなく、第四紀学全般を概観したい方も、ぜひご参加下さい。

日時：2018年12月8日（土） 9時30分～17時00分

場所：お茶の水女子大学 共通一号館 304号室

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1

東京メトロ丸ノ内線茗荷谷駅下車 10分

東京メトロ有楽町線護国寺駅下車 5分

事前登録：なし、直接会場にお越しください

参加費：無料

プログラム

9時30分～10時00分 第四紀研究の成果と第四紀多様性 目代邦康（日本ジオサービス）

10時00分～10時30分 ジオ多様性の保全と研究の必要性 渡辺悌二（北大）

10時30分～10時55分 日本列島の平野環境の多様性 堀 和明（名古屋大）

10時55分～11時20分 日本列島の山地環境の多様性 荻谷愛彦（専修大）

11時20分～11時45分 日本列島の地形発達の高多様性 植木岳雪（千葉科学大）

11時45分～12時10分 日本列島の火山・テフラの高多様性 鈴木毅彦（首都大）

昼食

13時00分～13時25分 日本列島の水環境の高多様性 林 武司（秋田大）

13時25分～13時50分 日本列島の気候の高多様性 財城真寿美（成蹊大）

13時50分～14時15分 日本列島の植生の高多様性 百原 新（千葉大）

14時15分～14時40分 日本列島の動物の高多様性 河村 愛（富山大）

休憩

15時00分～15時25分 日本列島の旧石器考古遺跡の高多様性 橋詰 潤（明治大）

15時25分～15時50分 日本列島の縄文・弥生考古遺跡の高多様性 工藤雄一郎（歴博）

15時50分～16時15分 考古遺跡からみた日本列島の地形環境の高多様性 小野映介（新潟大）

16時15分～17時00分 総合討論

◆ 2018年若手・学生発表賞：受賞者選考結果

2018年大会において若手・学生発表賞にエントリーされた中から、下記の方々の発表が受賞されました。受賞された会員のみならず、おめでとうございます。

■ 口頭若手部門：1名（選考対象4件）

受賞者：谷川晃一朗 会員（産総研）

演題：高知県南国市における完新世中～後期の津波浸水履歴

発表者：谷川晃一朗・宍倉正展・藤原 治・行谷佑一・松本 弾（産総研）

■ 口頭学生部門：1名（選考対象4件）

受賞者：藤井和香 会員（神戸大）

演題：大阪湾周辺の植生が示す MIS19 の急激な温暖化と寒冷化のくり返し

発表者：藤井和香・兵頭政幸（神戸大）・加藤茂弘（人と自然の博物館）

■ ポスター若手部門：2名（選考対象8件）

受賞者：石村大輔 会員（首都大）

演題：地球化学的特徴に基づく津波堆積物間の堆積物の側方対比

発表者：石村大輔（首都大）・山田圭太郎（立命館大）

受賞者：野口真利江 会員（パレオ・ラボ）

演題：栗橋コアの珪藻分析からみた中川低地北部における MIS5e と MIS1 の古環境

発表者：野口真利江（パレオ・ラボ）・石綿しげ子・大里重人（土質リサーチ）・三橋さゆり（利根川上流河川事務所）・須貝俊彦（東京大）・杉中佑輔（RCCM）・鈴木正章（文京区）・遠藤邦彦（日本大）

■ ポスター学生部門：2名（選考対象9件）

受賞者：辻 ひさ 会員

演題：大型植物化石群から復元した中期更新世後半 MIS7 の気候変化と八ヶ岳東南麓の植物相変遷

発表者：辻 ひさ・百原 新（千葉大）・水野清秀（産総研）・内山 高（富士山科学研究所）・内山美恵子（都留文科大）

受賞者：舟津太郎 会員（東京大）

演題：武蔵野礫層の堆積頂面および堆積構造からみた武蔵野礫層の堆積プロセス

発表者：舟津太郎・須貝俊彦（東京大）・遠藤邦彦（日本大）

(2018年発表賞選考委員会)

選考委員長：百原 新

選考委員：奥野淳一（領域1）、久保純子（領域2）、長橋良隆（領域3）、百原 新（領域4、若手部門のみ審査）、高原 光（領域4、学生部門のみ審査）、竹村恵二（領域5）

◆ 2019 年「日本第四紀学会学会賞」等の推薦のお願い

「日本第四紀学会会則」の第3条(3)に基づき、2019年に表彰を行う日本第四紀学会の各種顕彰の受賞候補者の推薦募集を行います。各賞ともに、それぞれの選考委員会で受賞候補者が選考された後に、2019年6月に開催される評議員会で受賞者が決定され、2019年大会で表彰される予定です。会員のみなさまからの多数のご応募をお待ちしております。

1. 各賞の概要と推薦書類の記入内容

■ 「学会賞」・「学術賞」

「日本第四紀学会学会賞」(以下、「学会賞」と「日本第四紀学会学術賞」(以下、「学術賞」)は、第四紀学の発展に寄与する研究や学会活動への貢献を行ってきた会員に贈られる賞です。これらの賞の受賞候補者は、会員から推薦された候補者の中から学会賞受賞候補者選考委員会が選考します。その後、同委員会による選考結果に基づき、評議員会で受賞者が決定されます。

「学会賞」：第四紀学の発展に貢献した顕著な業績や活動および学会活動に貢献した正会員に授与。学会における最高の賞。毎年若干名。

「学術賞」：第四紀学の発展に貢献した優れた学術業績をあげた正会員に授与。優れた編書、著書、論文などの一連の業績が対象。対象成果が複数の著書(研究グループ等を含む)によりなされた場合には、筆頭著者または代表者に授与。毎年若干名。

推薦にあたっては、学会HPの「会則・規則」のページ(<http://quaternary.jp/intro/rules/rules.html>)に掲載されている「日本第四紀学会顕彰規程」及び「日本第四紀学会学会賞・学術賞選考に関する内規」をご参照の上、下記の情報を記した推薦書類を作成して学会事務局へ送付して下さい。なお、過去に受賞した会員は同じ賞を受賞することはできませんので、学会HPの「歴史」のページ(<http://quaternary.jp/intro/gakkaisho.html>)で歴代受賞者を事前にご確認頂きますようお願い致します。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先(自薦を含む)
- (2) 賞の名称
- (3) 候補者の氏名・所属・連絡先
- (4) 「学会賞」の場合には、具体的な業績や活動内容を示した受賞件名
「学術賞」の場合には、受賞の対象となる一連の業績を含めた受賞件名
- (5) 推薦理由(1000字以内)

■ 「若手学術賞」

昨年度から日本第四紀学会の顕彰制度に「日本第四紀学会若手学術賞」(以下、「若手学術賞」)が加わりました。この賞は第四紀学の発展に貢献した優れた学術業績をあげた若手会員(2019年4月1日時点で39歳以下の会員)に授与されるもので、優れた編書、著書、論文などの一連の業績が対象となります。対象成果が複数の著者(研究グループ等を含む)によりなされた場合には、筆頭著者または代表者に授与することになります。受賞者数は若干名です。この賞の受賞候補者の選考は、学会賞受賞候補者選考委員会が行います。

推薦にあたっては、学会HPの「会則・規則」のページ(<http://quaternary.jp/intro/rules/rules.html>)に掲載されている「日本第四紀学会顕彰規程」及び「日本第四紀学会若手学術賞選考に関する内規」をご参照の上、下記の情報を記した推薦書類を作成して学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先(自薦を含む)
- (2) 賞の名称
- (3) 候補者の氏名・所属・連絡先
- (4) 候補者の業績に関する情報
- (5) 推薦理由(800字以内)

■ 「論文賞」・「奨励賞」

2019年の「日本第四紀学会論文賞」(以下、「論文賞」と「日本第四紀学会奨励賞」(以下、「奨励賞」)、過去2年間に刊行された「第四紀研究」(第56巻第1号～第57巻第6号)に掲載された論文と著者が対象となります。会員からご推薦頂いた候補論文/候補者の自薦・他薦を踏まえ、論文賞受賞者選考委員会において受賞候補論文・受賞候補者の選考を行います。受賞論文と受賞者は、2019年6月に開催される評議員会において決定され、2019年大会で表彰される予定です。

「論文賞」：会員である論文著者全員に授与。毎年1～2件程度。対象は掲載された全ての論文(短報を含む)。

「奨励賞」：会員である筆頭著者に授与。年齢は2019年4月1日時点で35歳以下。毎年1～2件程度。受賞者には副賞として5万円の奨学金が授与されます。

推薦にあたっては、学会HPの「会則・規則」のページ (<http://quaternary.jp/intro/rules/rules.html>) に掲載されている「日本第四紀学会顕彰規程」及び「日本第四紀学論文賞・奨励賞選考に関する内規」をご参照の上、「論文賞」については候補論文を、「奨励賞」については候補者を推薦して下さい。推薦書類には下記の情報を記し、学会事務局へ送付して下さい。

- (1) 推薦者の氏名・所属・連絡先（自薦を含む）
- (2) 賞の名称
- (3) 候補者の氏名・所属・連絡先
- (4) 「論文賞」の場合には、全著者名と候補論文名
「奨励賞」の場合には、候補者名と候補論文名
- (5) 推薦理由（1000字以内）

なお、「奨励賞」については過去に受賞した会員は受賞することができませんので、学会HPの「歴史」のページ (<http://quaternary.jp/intro/gakkaisyo.html>) で歴代受賞者と事前にご確認頂けますようお願い致します。

2. 推薦書類の送付先

各賞の推薦書類は、郵送または電子メールで学会事務局へ送付して下さい。送付先の住所ならびに送信先のメールアドレスは下記のとおりです。

郵送：〒169-0072 東京都新宿区大久保2丁目4番地12号 新宿ラムダックスビル10階
メールアドレス：daiyonki (at) shunkosha.com (“(at)”の部分を“@”に変えて下さい)

郵送の場合の宛名は、「学会賞」・「学術賞」・「若手学術賞」の推薦書類については、「日本第四紀学会学会賞候補者選考委員会宛」、「論文賞」・「奨励賞」の推薦書類については「日本第四紀学会 論文賞候補者選考委員会宛」として下さい。電子メールの場合には、上記のそれぞれの宛先名を電子メールの件名に入力して送信して下さい。

3. 提出期限

推薦書類の提出期限は、いずれも2019年1月31日（木）です。

◆日本第四紀学 2018 年度第 3 回会執行部会議事録

日時：2018年10月28日（日）9:30～13:20
会場：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス、
会議室 B
東京都千代田区外神田1-18-13、秋葉原
ダイビル12階
出席：齋藤文紀（会長）、鈴木毅彦（副会長）、松
浦秀治（副会長）、池原 研（領域1）、須
貝俊彦（領域2）、兵頭政幸（領域3）、吾
妻 崇（庶務委員会）、北村晃寿（編集委員
会）、藤原 治（行事委員会）
欠席：高原 光（領域4）、植木岳雪（領域5）、三
浦英樹（会計委員会）、百原 新（広報委員
会）、小荒井 衛（渉外委員会）
オブザーバー：永峯（学会事務局）

議事：

1) 各委員会の委員長および領域代表により、活動

報告が行われた。
2) 2019年2月に横浜で開催される「防災技術展」
に後援することが承認された。
3) 『第四紀通信』第25巻6号の掲載記事と執筆担
当者を確認した。
4) 「だいよんき Q&A」への回答を作成する担当者
を決めた。
5) 2019-2020年役員選挙について、スケジュール
と選挙管理委員の選出を検討した。
6) 2018年度第2回評議員会の開催日程および会
場について検討した。
7) 2019年論文賞選考委員会の委員候補者選出に
ついて検討した。
8) 次回執行部会の開催日程について、12月下旬
および1月初旬の候補日を挙げ、後日決定するこ
ととした。

★★★ 第四紀通信に情報をお寄せ下さい ★★★

第四紀通信の原稿は随時受け付けております。

広報委員長：百原 新 (arata(at)faculty.chiba-u.jp) 宛にメールでお送り下さい。

第四紀通信は奇数月月上旬原稿締め切り、偶数月 1 日刊行予定としていますが、情報の速報性
ということから、版下が完成した段階でホームページに掲載するよう努力しています。

奇数月 15 日頃にはホームページにアップするようになっていますのでご利用下さい。

日本第四紀学会広報委員会 千葉大学大学院 園芸学研究科 百原 新
〒 271-8510 千葉県松戸市松戸 648 FAX : 047-308-8720

広報書記：那須浩郎・糸田千鶴・奥村公弥子・岩本容子

日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> から第四紀通信バックナンバーの PDF ファイル
を閲覧できます。

日本第四紀学会事務局

〒 169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル 10 階
株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail : daiyonki(at)shunkosha.com 電話 : 03-5291-6231 FAX : 03-5291-2176